

中央新幹線、
中央アルプストンネル(松川)外
トンネル工事計画に関する説明会について

1. 工事概要

(1) 中央新幹線、中央アルプストンネル(松川)外

2. 工事の進捗状況

(1) 施工ヤード・工事用道路整備

(2) 市道大休妙琴線の安全対策

(3) 現状の工事工程

3. トンネル工事計画

(1) トンネル工事計画の変更

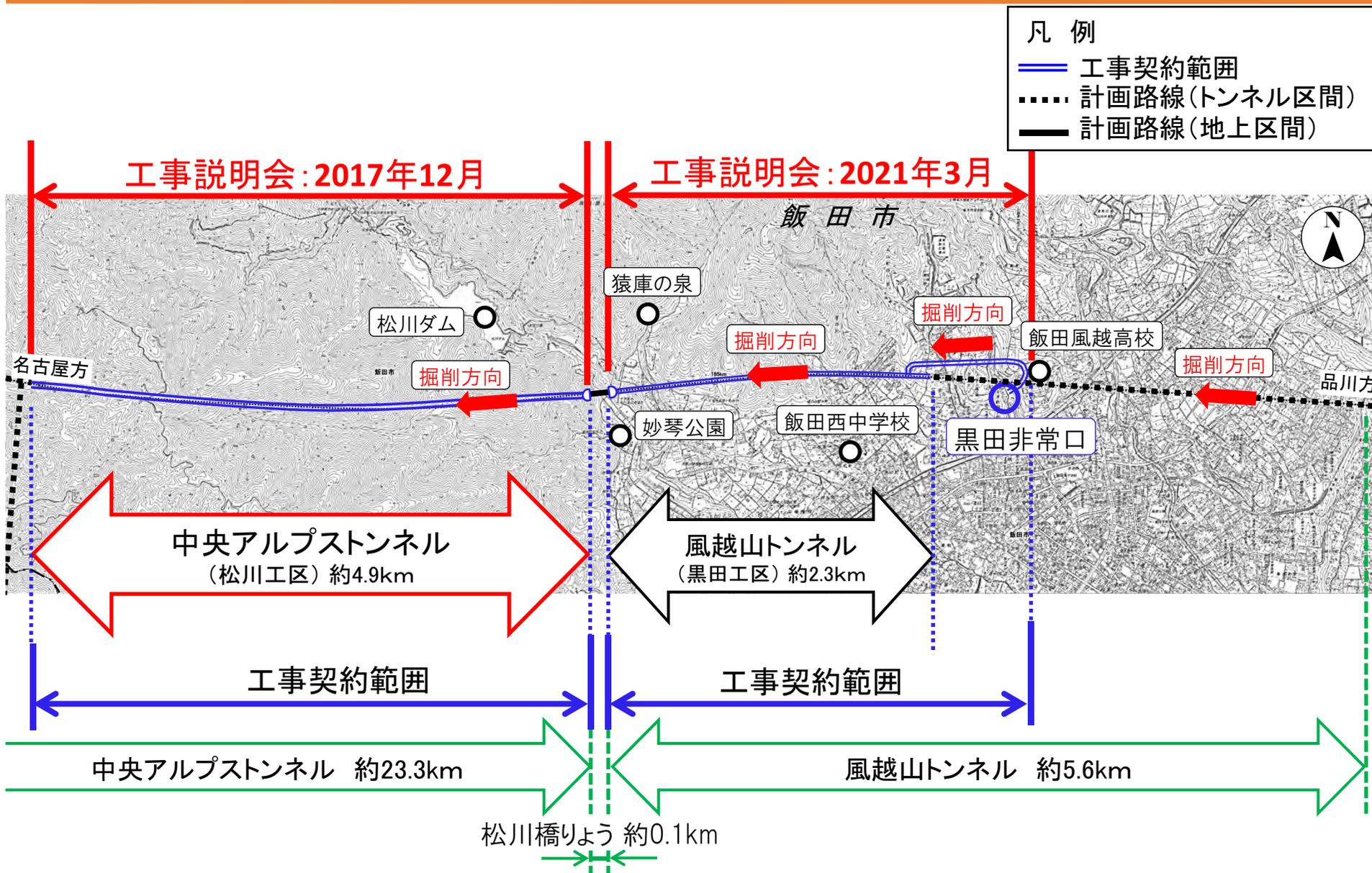
(2) トンネル工事の工事工程

(3) 工事用車両の通行計画及び安全対策

4. その他

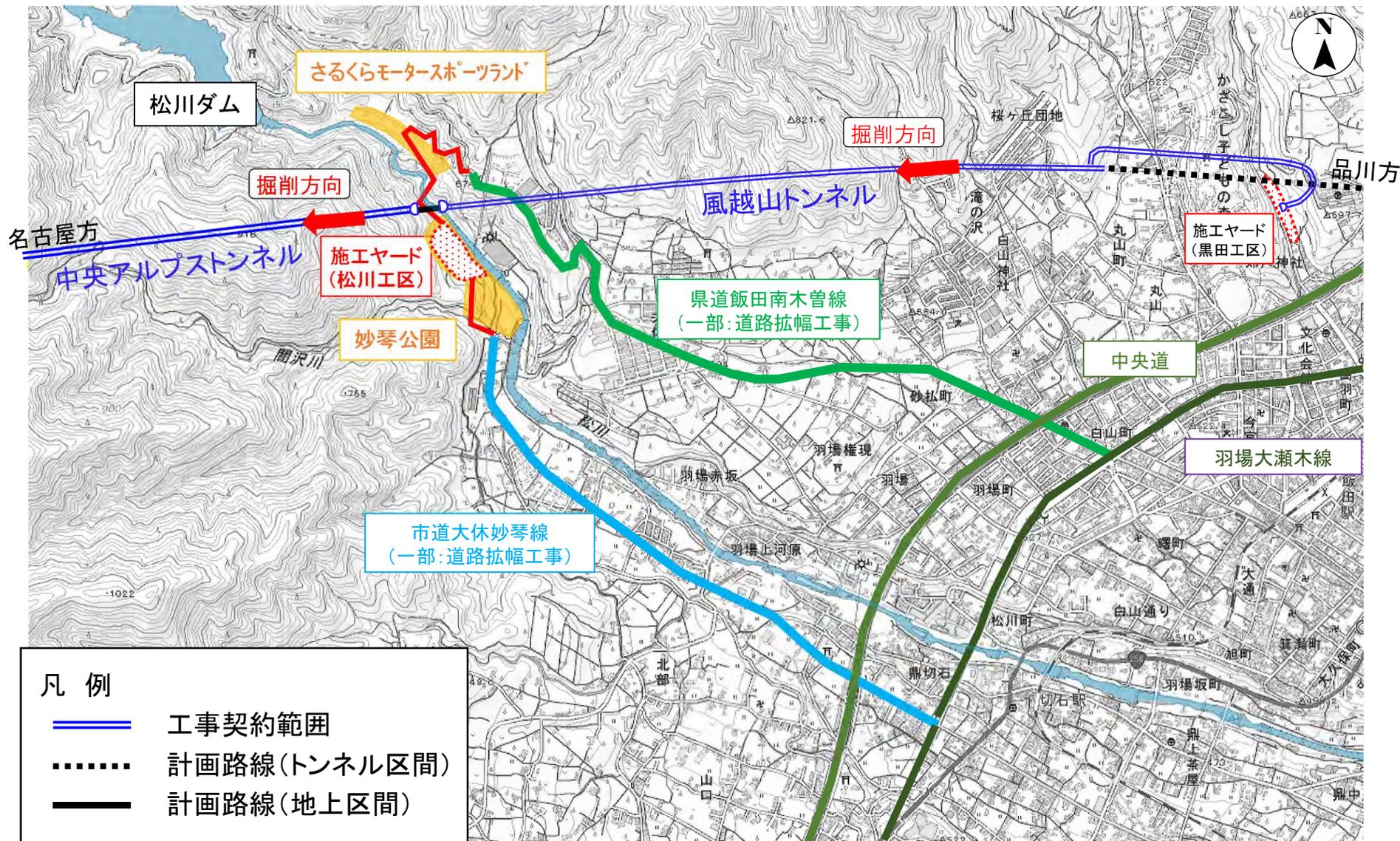
(1) 工事用車両の通行等に関する確認書

(2) 問い合わせ先

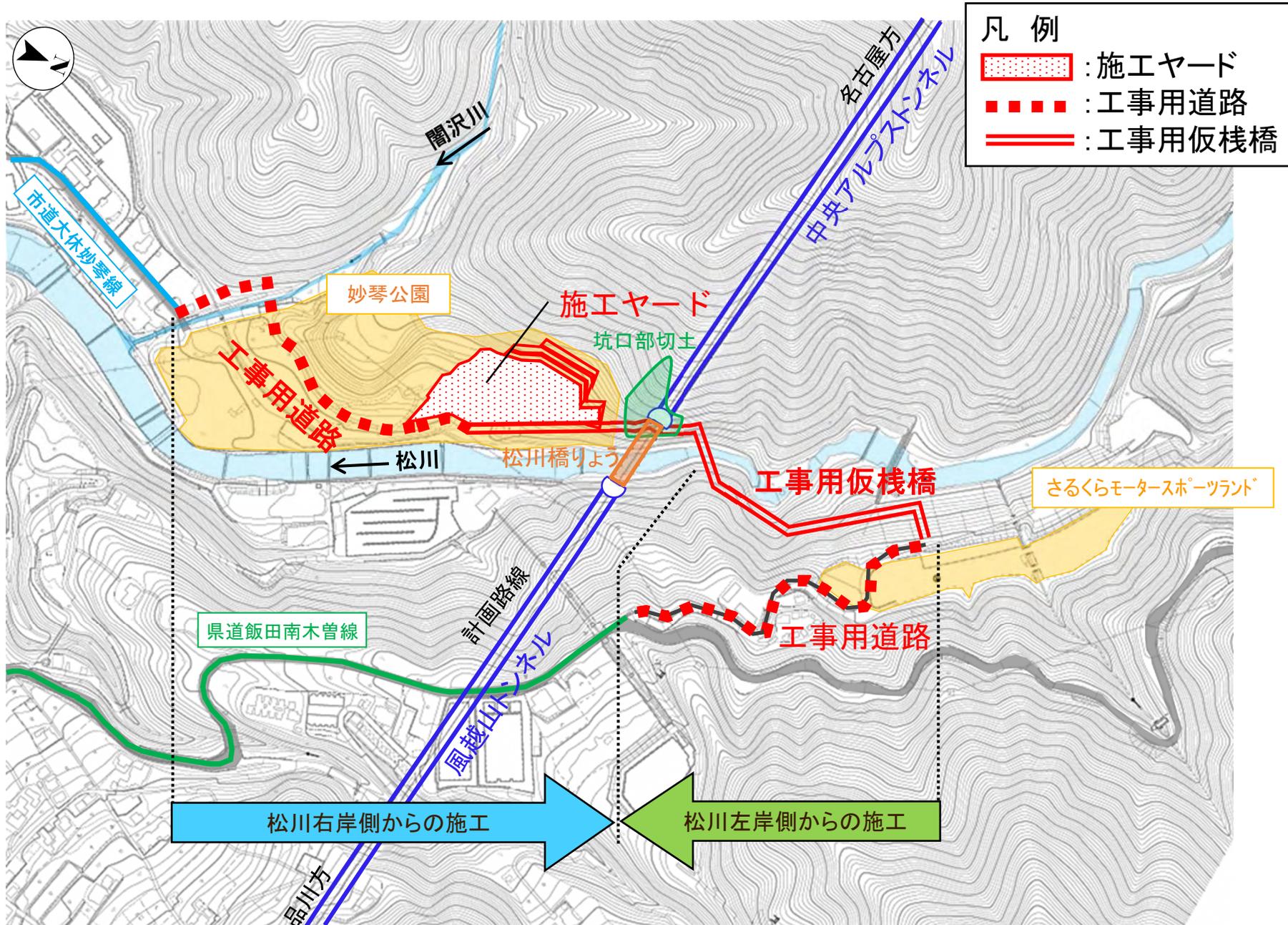


中央新幹線、中央アルプストンネル(松川)外 工事位置

中央アルプストンネル工事として、妙琴公園での施工ヤード造成、市道大休妙琴線及び
県道飯田南木曾線の拡幅工事を実施



施工ヤード整備



造成工事状況



造成工事状況



現在の状況



- ・トンネル工事用の仮設設備を置くため、切土・盛土を行い平地を造成
- ・現在はトンネル工事用の仮設設備の設置を実施中

工事状況



工事状況



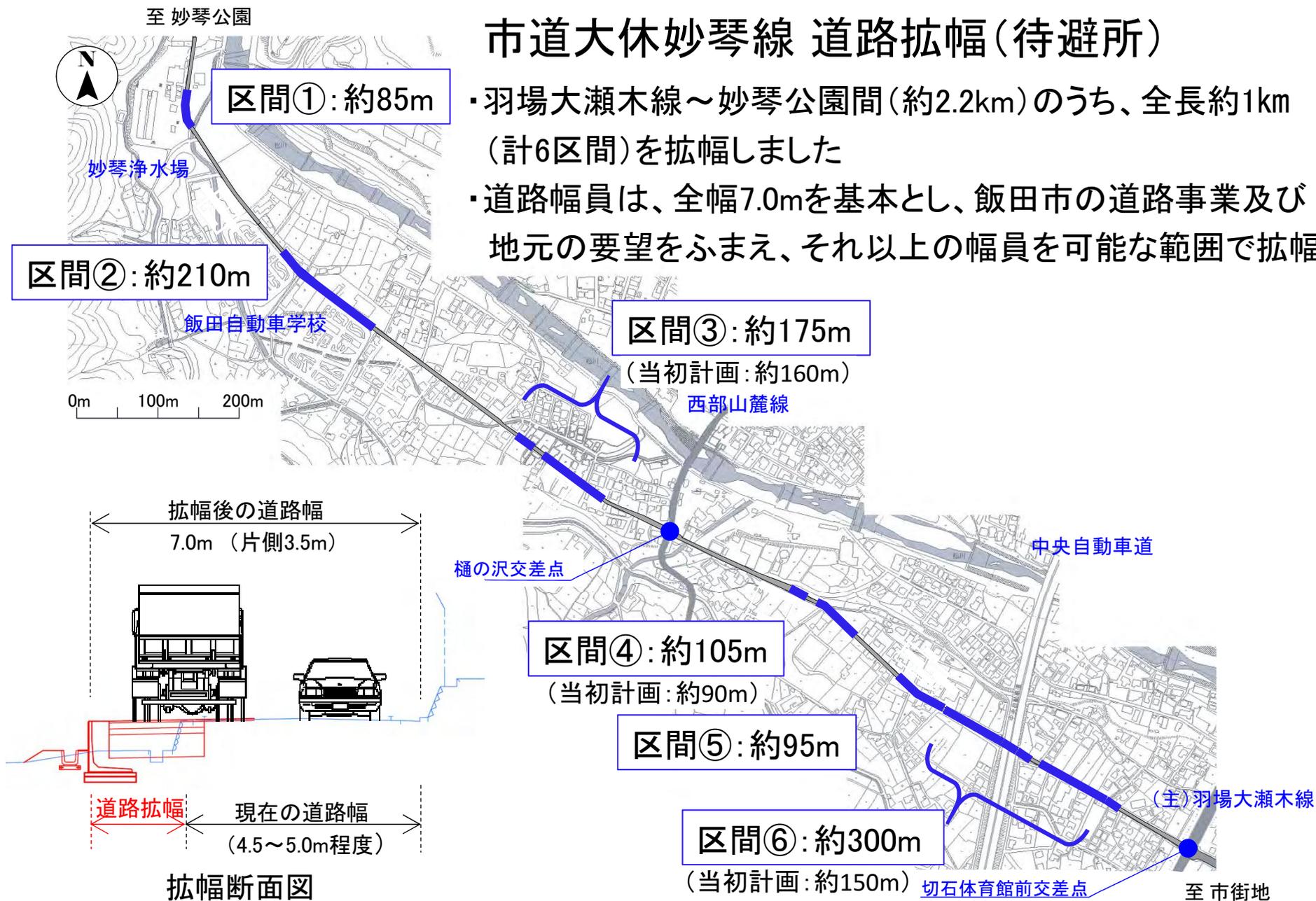
工事状況



- ・工事用車両を一方通行で通行させるため、松川を渡河する工事用道路を整備
- ・現在は渡河部の工事が完了し、安全設備の整備・点検を実施中

市道大休妙琴線 道路拡幅(待避所)

- ・羽場大瀬木線～妙琴公園間(約2.2km)のうち、全長約1km(計6区間)を拡幅しました
- ・道路幅員は、全幅7.0mを基本とし、飯田市の道路事業及び地元の要望をふまえ、それ以上の幅員を可能な範囲で拡幅



区間6着手前



区間6工事完了後



区間6工事状況



区間1工事完了後



区間2工事完了後



区間3工事完了後



区間5工事完了後



○道路拡幅以外の対策

- ① グリーンベルトの設置(区間2~3間)
- ② 迂回歩道の整備
- ③ 工事車両合図者の配置(下校時間帯)
- ④ 防犯灯又は街灯の設置
- ⑤ 反射材の配布(関係する児童・学童が対象)
- ⑥ 安全看板の設置
- ⑦ 貸切車による送迎(関係する児童・学童が対象)

① グリーンベルトの設置(区間2~3間)



② 迂回歩道の整備



③ 工事車両合図者の配置(下校時間帯)



④ 防犯灯又は街灯の設置



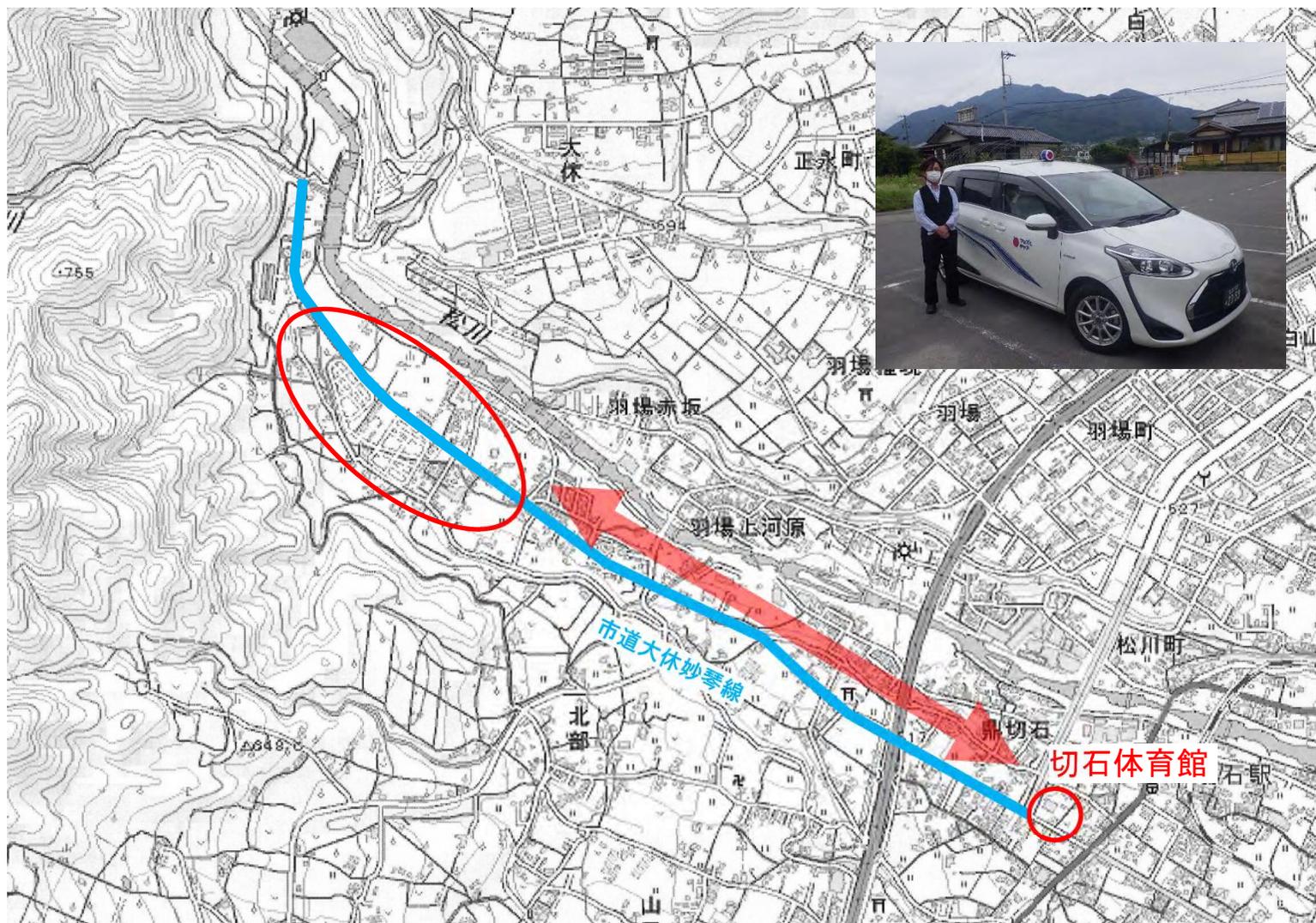
⑤ 反射材の配布(関係する児童・学童が対象)



⑥ 安全看板の設置



⑦ 貸切車による送迎（関係する児童・学童が対象）

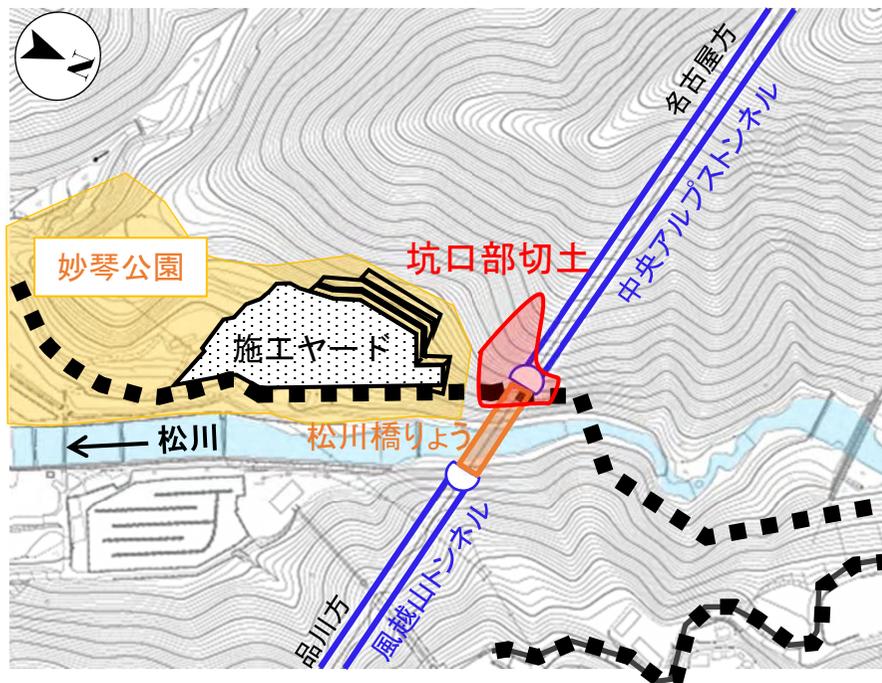


市道大休妙琴線(副川交差点部)より妙琴公園側の小中学生のうち送迎を希望する方を対象に貸し切り車による送迎を実施

作業項目	年度											
	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)
中央アルプストンネル(松川)		■										
妙琴公園内での事前作業	■											
ヤード造成・ 工事用道路整備等		■										
道路拡幅(待避所)工事(市道) (用地交渉含む)		■										
道路拡幅工事(県道)		■										
トンネル掘削			■	■								
覆工・路盤工				■								
片付工								■				
風越山トンネル(黒田)			■									
松川橋りょう			■									

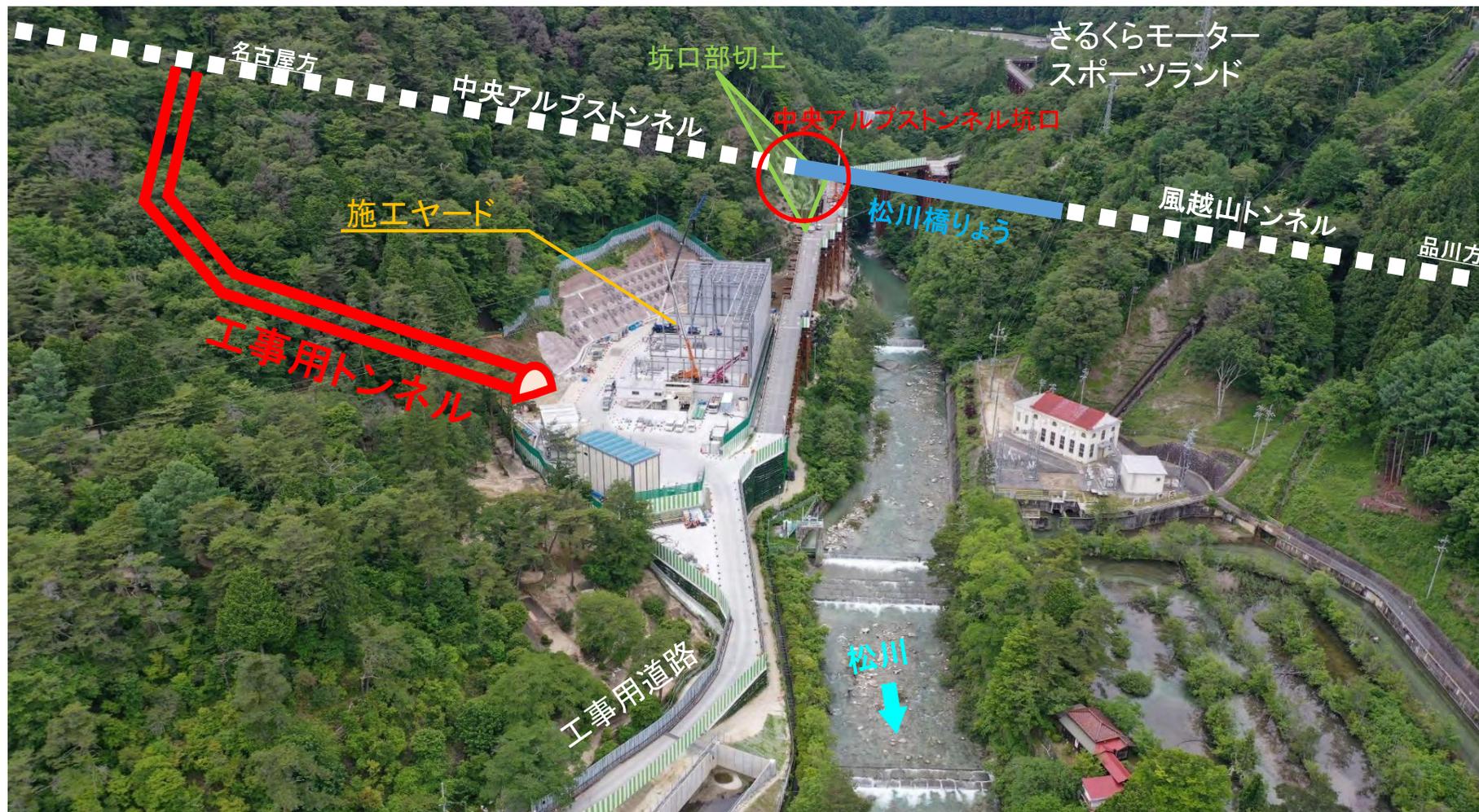
※本工程は工事説明会(2017年12月)時点の説明工程に2026年度以降を追記しております

○中央アルプストンネル坑口部の状況

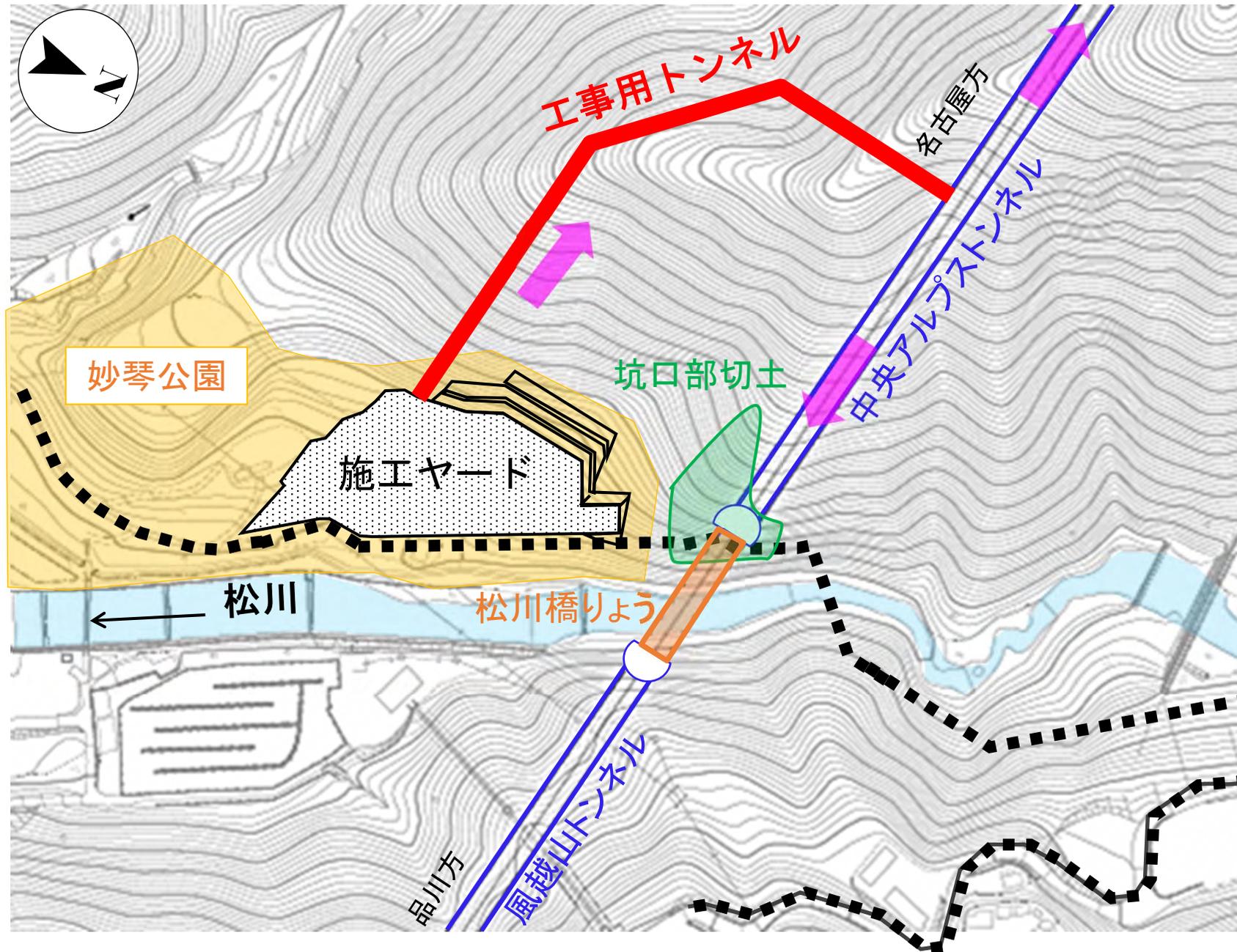


- ・中央アルプストンネル坑口部を伐採後、調査した結果、想定より地表面が脆い状態である
- ・中央新幹線本線の坑口部となり、営業開始後事故が起らないよう補強が必要
- ・安全を確保しながら工事を行う必要があり、工事に時間を要する見通し

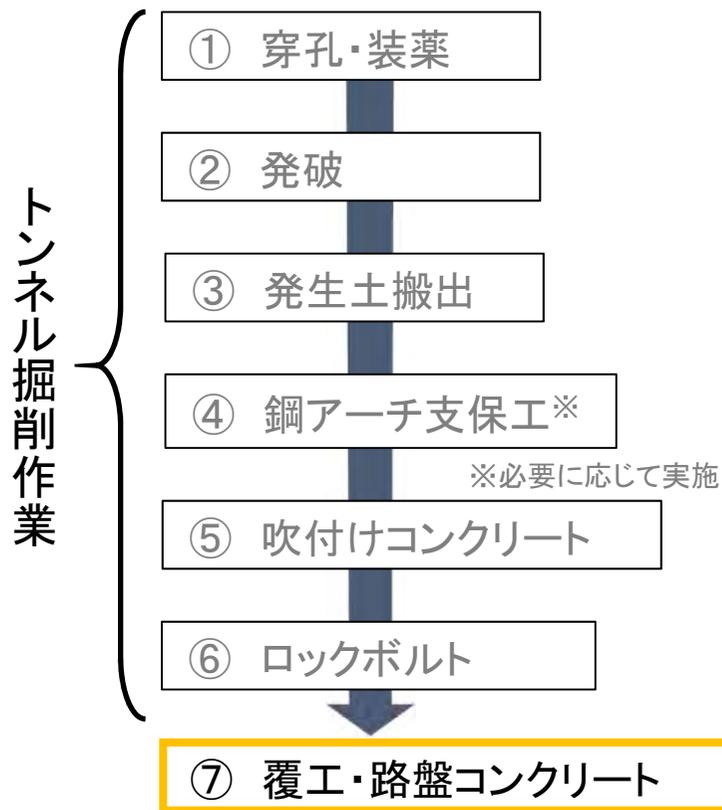
○工事用トンネルの追加



- ・当初、トンネル工事は中央アルプストンネル坑口からのトンネル掘削を考えていたが、工事用トンネルを設けて掘削することに変更する
- ・坑口部切土工事とトンネル工事を並行して行うことが可能となる
- ・工事用トンネルは、工事完了後は、閉塞することを予定している



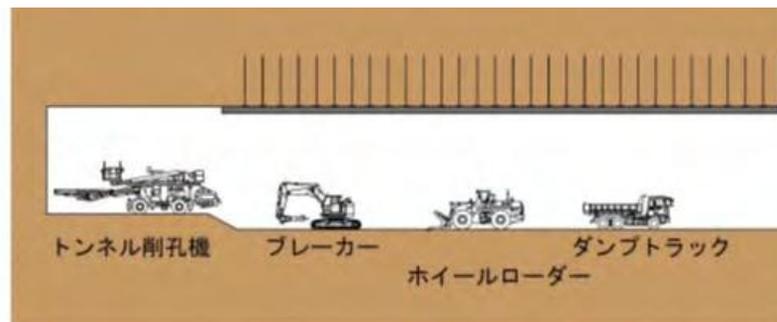
トンネル工事は、標準的な工法であるNATM(ナトム)を採用



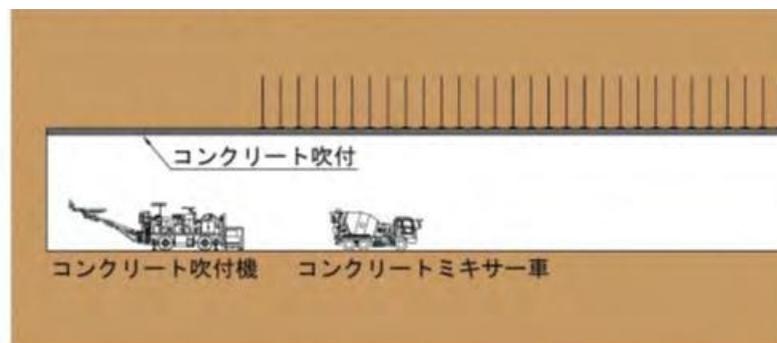
トンネル掘削作業の後追いで工事

橋りょう工事との並行作業が可能のため
当初計画より工事期間を短縮

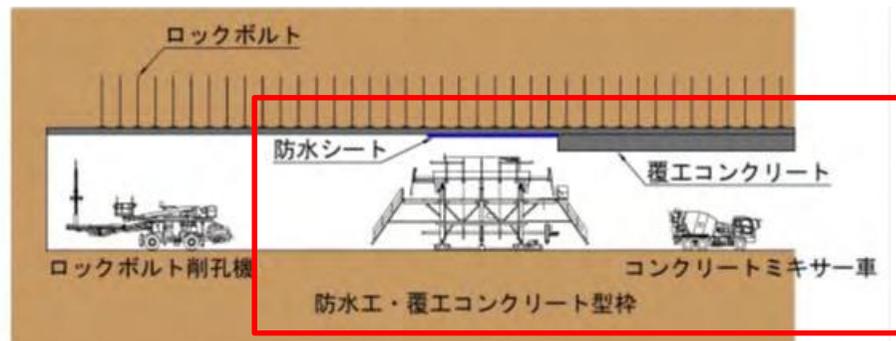
1 掘削、発生土運搬



2 コンクリート吹付



3 ロックボルト打込み、防水シート・コンクリート壁打設



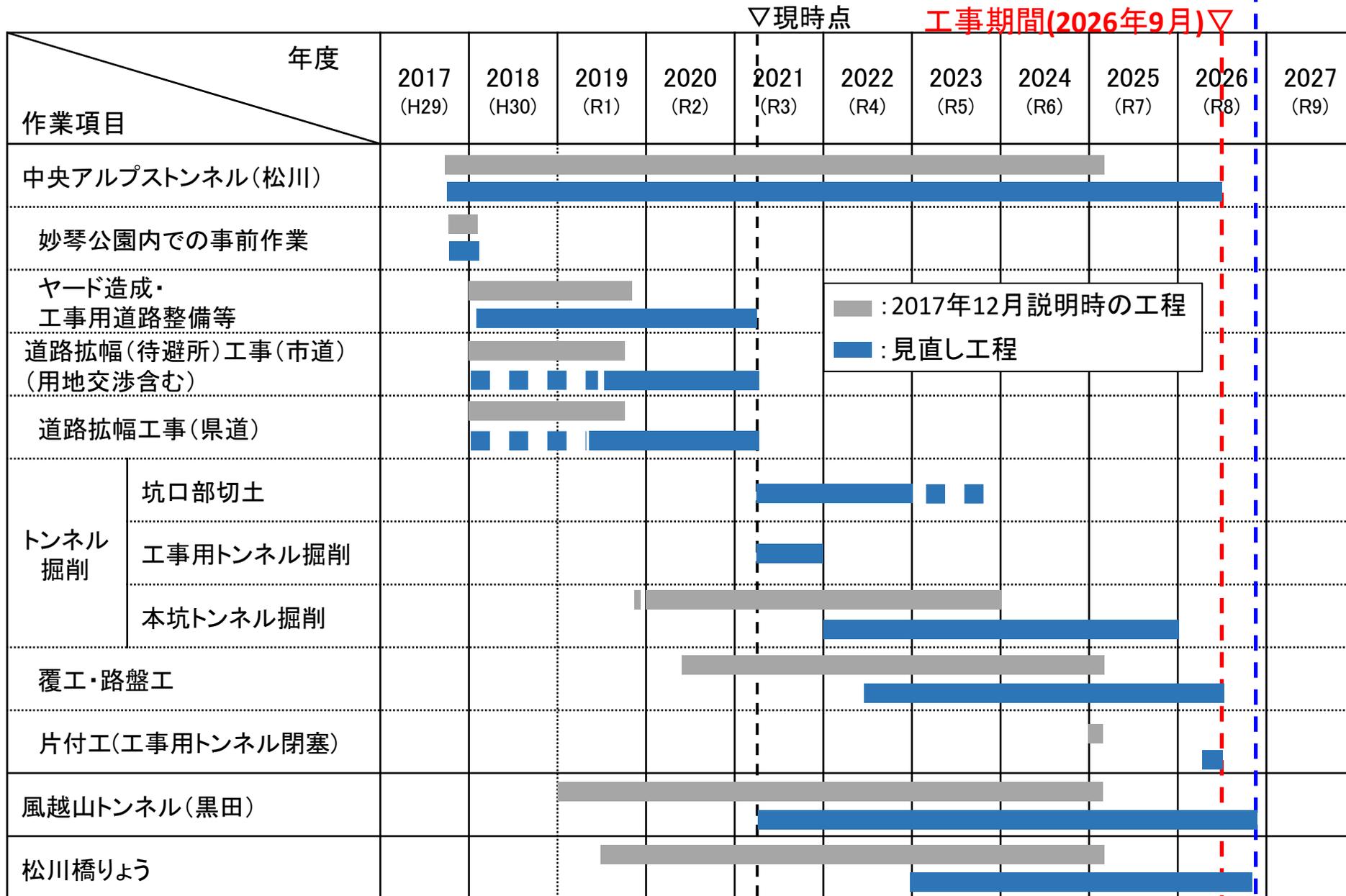
今後の工事工程

風越山トンネル・松川橋りょう

工事期間(2027年2月) ▽

中央アルプストンネル

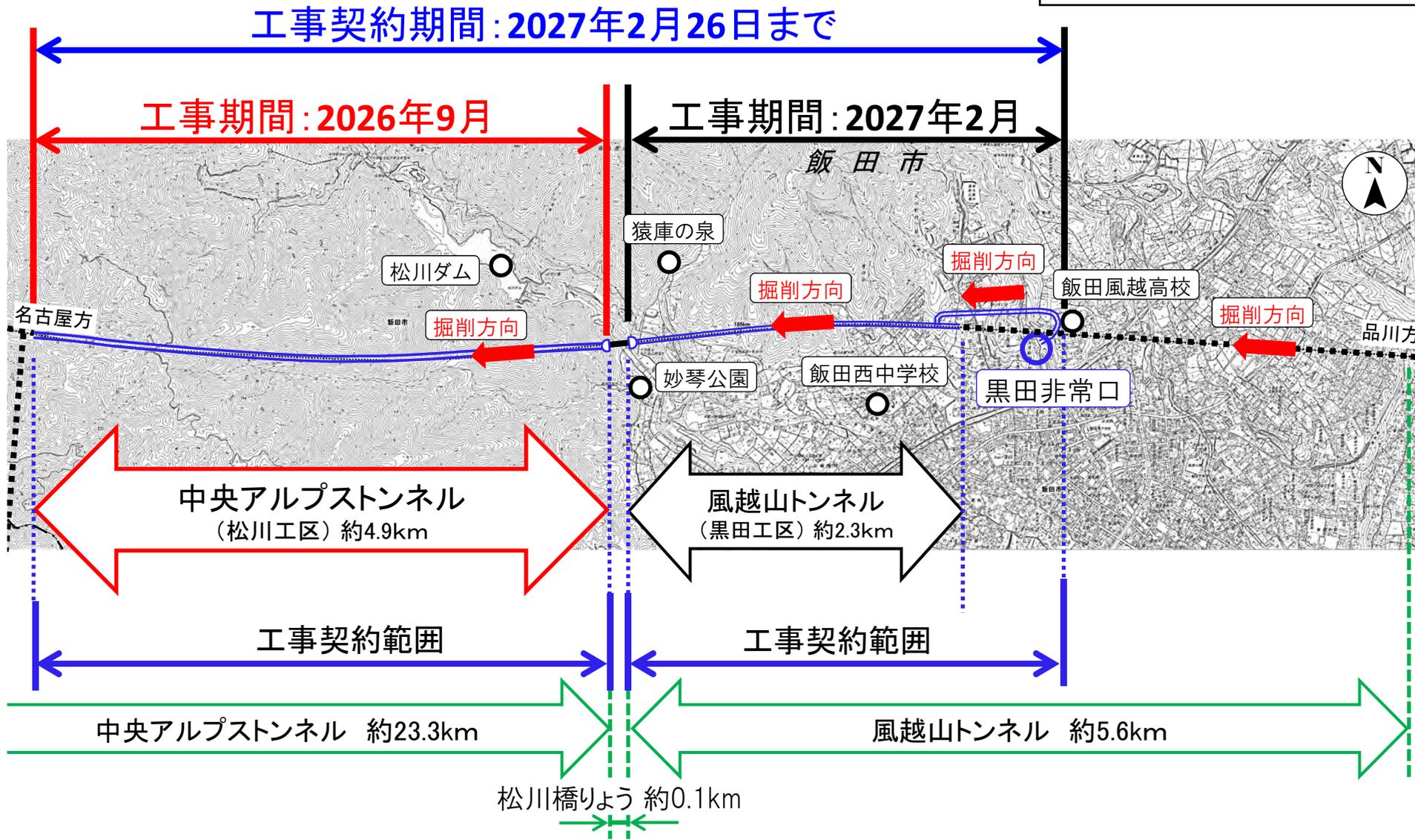
工事期間(2026年9月) ▽



※工程は本日時点の予定としており、工事の進捗により変更となる可能性があります。

凡例

- 工事契約範囲
- 計画路線(トンネル区間)
- 計画路線(地上区間)



工事施工ヤード(妙琴公園)入口部の工事看板に工事期間を表示します



本日の説明後、工事看板の工事期間について「2026年9月まで」と表示させていただきます

ご迷惑をおかけします

中央新幹線(松川工区)
の工事を行っています

工事期間 2026年9月まで
時間帯 8:00~17:00

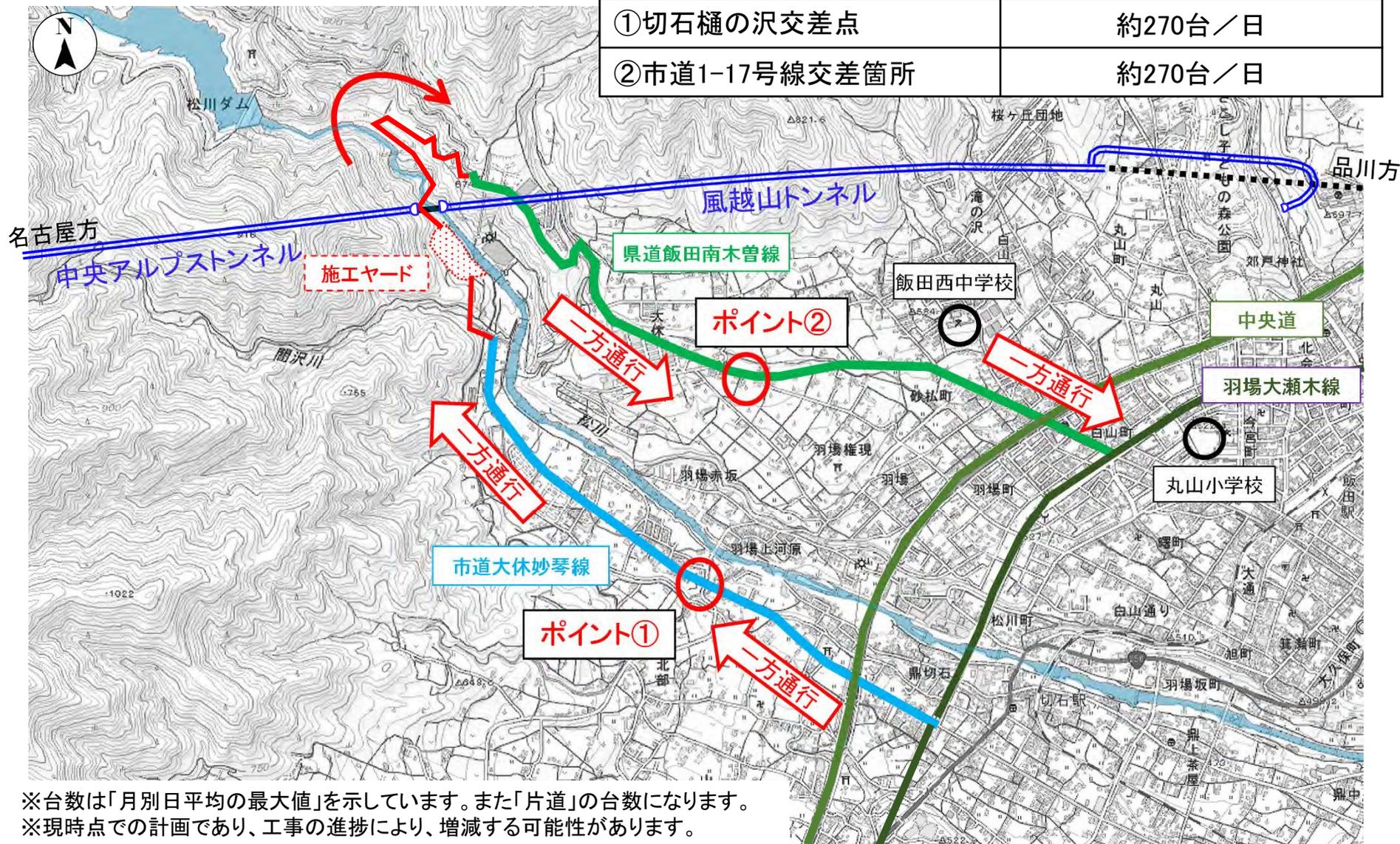
中央アルプストンネル新設工事

発注者	独立行政法人 鉄道建設運輸施設整備支援機構 関東甲信工事局 飯田鉄道建設所	電話	0265-53-1755
施工者	戸田・あおみ・矢作特定建設工事共同企業体	電話	0265-48-5891

工事用車両の運行計画

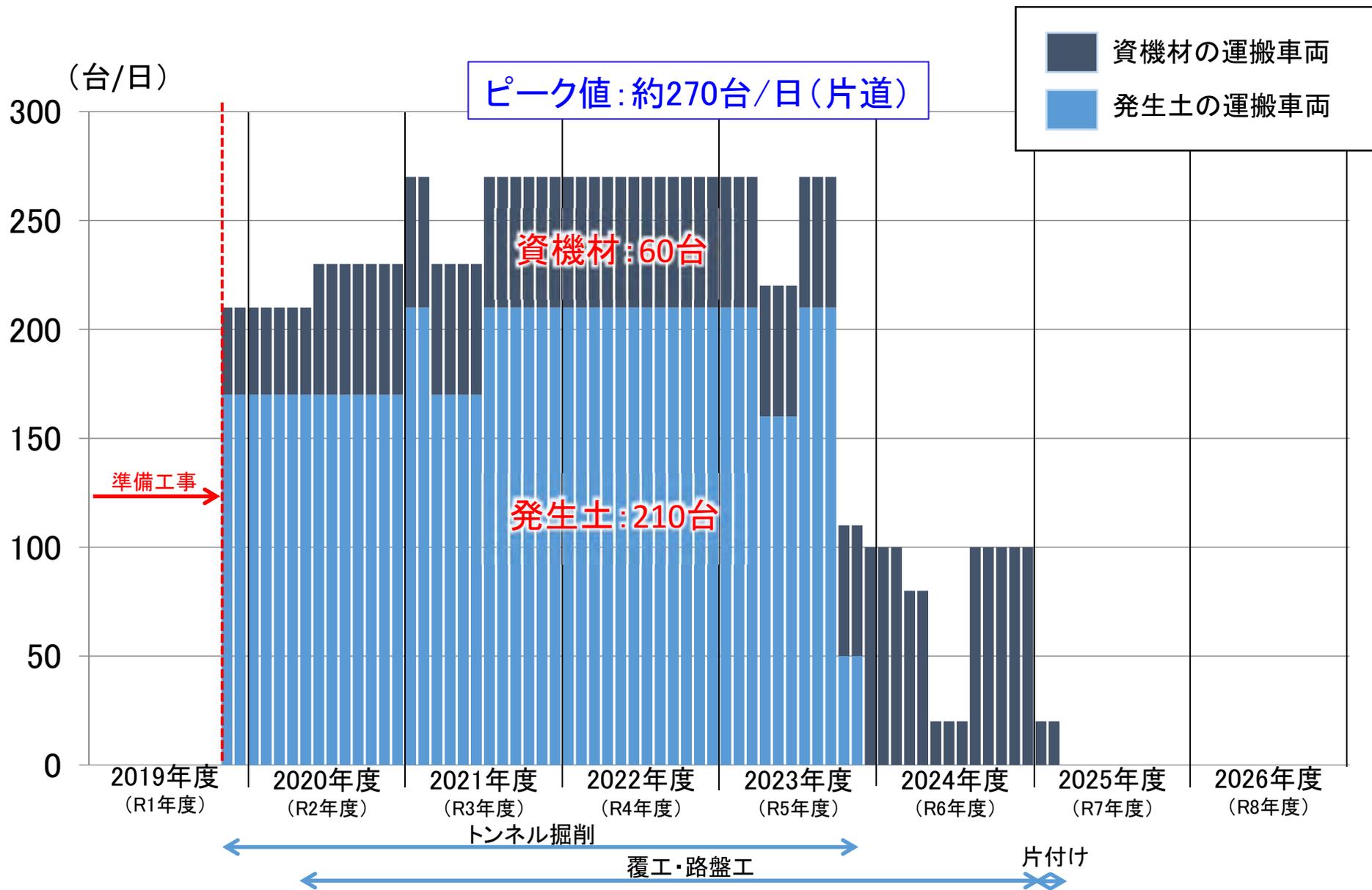
※トンネル掘削工事以降：鼎地区（市道片道通行）、羽場地区（県道片道通行）

ポイント	最大車両台数(片道)
①切石樋の沢交差点	約270台/日
②市道1-17号線交差箇所	約270台/日



※台数は「月別日平均の最大値」を示しています。また「片道」の台数になります。
 ※現時点での計画であり、工事の進捗により、増減する可能性があります。

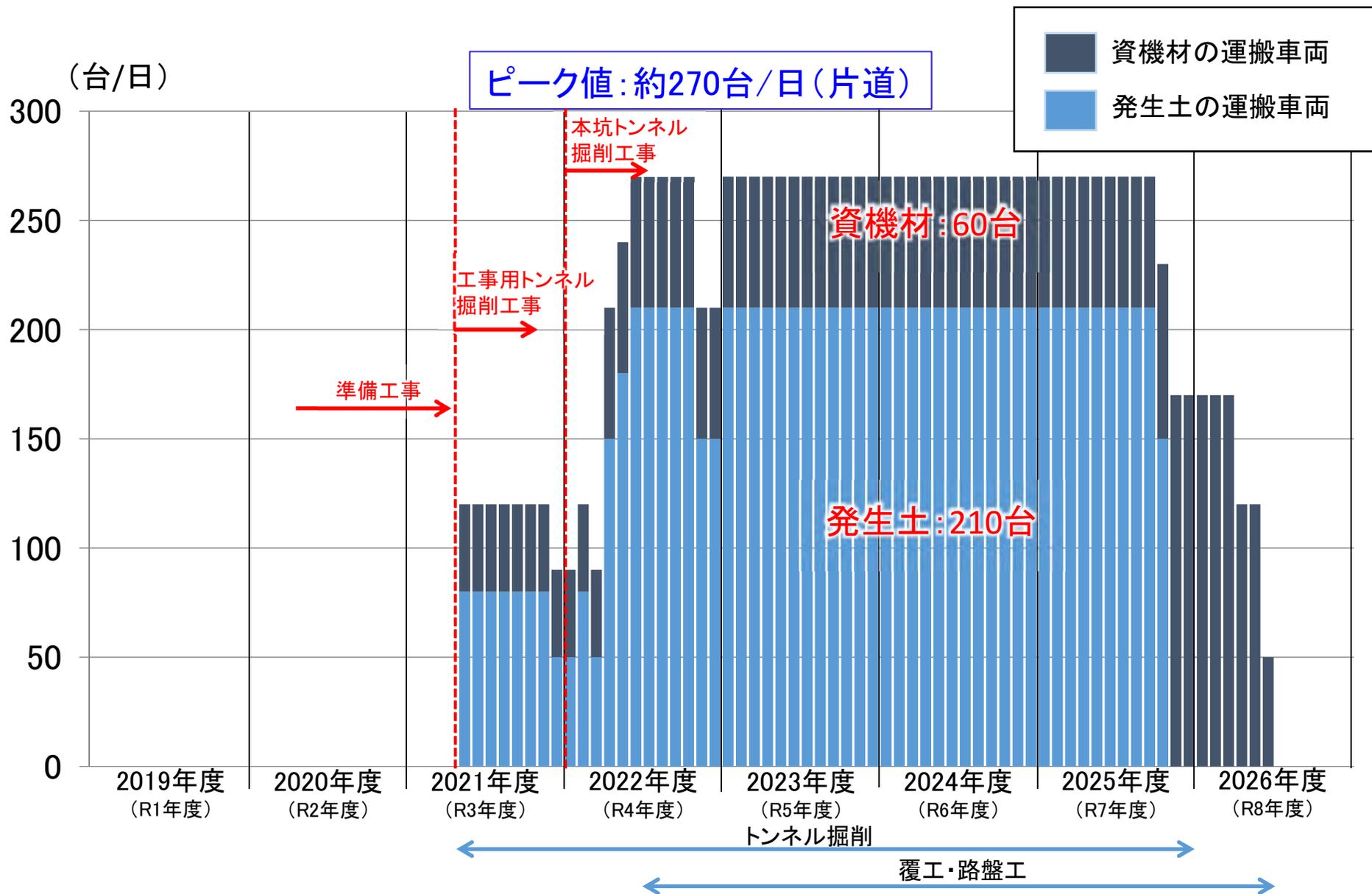
トンネル掘削開始後の工事用車両の運行台数(2017年12月説明時)



※台数は「月別日平均台数」を示しています。また「片道」の台数になります。

※現時点での計画であり、工事の進捗により、台数の増減や時期が前後する可能性があります。

トンネル掘削開始後の工事用車両の運行台数(見直し後)



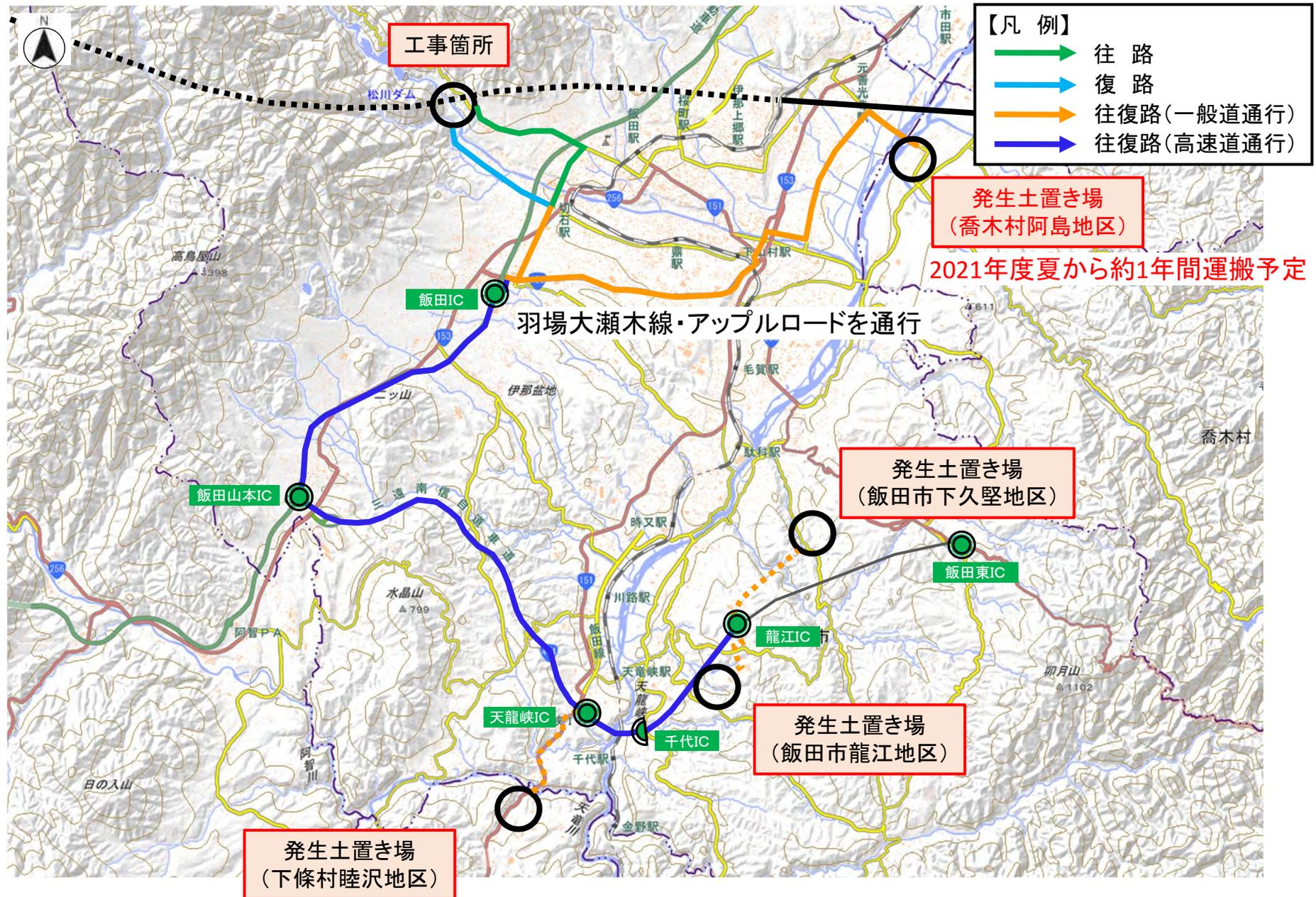
※台数は「月別日平均台数」を示しています。また「片道」の台数になります。

※現時点での計画であり、工事の進捗により、台数の増減や時期が前後する可能性があります。

< 鼎地区(市道大休妙琴線の通行) >

- ・運行時間帯：8時30分～17時00分（準備工事期間中）
 - 8時00分～17時00分（トンネル掘削期間中 発生土の運搬）
 - 7時00分～19時00分（トンネル掘削期間中 資機材の運搬）
- ・休 工 日：日曜日、その他長期休暇（年末年始等）
 - 16時30分～17時00分は、土砂・発生土運搬車（ダンプトラック）の運行台数の制限を行います。また、資機材の運搬にあたって、7時00分～8時30分に通行する場合は、通勤車や小中学生の通学に配慮します。
 - 上記の時間帯以外や休工日に作業や運搬を行うことがあります。その場合は事前に地元の皆様にお知らせします。
 - 地域のイベント等が開催される場合は、運行時間などについて、事前に調整させていただきます。
 - 工事で使用する重機を運搬する特殊車両は、法令の定めにより21時00分から翌05時00分の時間帯に運搬することを考えています。
 - 夏季（6月～9月）は、本工事期間中に発生土の運搬時間を18時00分まで延長することがあります。その場合は事前に地元の皆様にお知らせします。

トンネル発生土の運搬計画(令和3年度以降)



- トンネル掘削に伴う発生土運搬は、2021年夏頃より開始予定です。
- トンネル掘削期間中の運搬経路は、主には高速道路(中央自動車道・三遠南信自動車道)を使用して各発生土置き場へ運搬します。
- 上記以外の運搬経路を通行する場合は、事前に関係する地区と協議の上、回覧等で周知します。
- 各発生土置き場の造成工事の順序は、発生土受入の準備が完了したところから、順次行う予定です。

地元の皆様に対する交通安全対策は、最優先課題として実施していきます。

1. 作業員に対する交通安全教育の徹底
 - ・制限速度の厳守、地元車両優先の徹底
 - ・歩行者等への配慮、一旦停止の確実な履行
2. 安全対策
 - ・安全看板の設置
 - ・待避所の設置（道路拡幅工事の実施）
 - ・交通誘導員の配置
 - ・通学児童への対策
3. 工事用車両の明示
4. 工事用車両の監視・車間調整

1. 作業員に対する交通安全教育の徹底

○交通安全教育

- ・制限速度の厳守、地元車両優先の徹底、歩行者等への配慮及び一旦停止の確実な履行を図るため、交通安全教育実施時は交通安全マップを用います。
- ・作業員には、新規入場時に教育を行うとともに現場に入場後、1回/半年の頻度で定期教育を実施します。

入場時教育
交通安全KY



定期教育
(1回/半年)

○安全看板の設置

- ・注意喚起のための安全看板を、工事用車両が往来する箇所に適宜設置します。



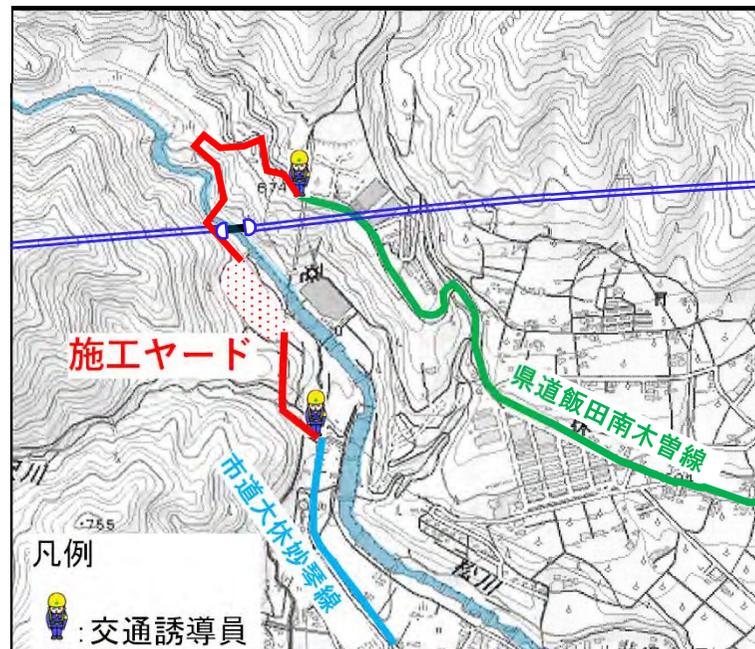
(1) 注意喚起用安全看板
 (※デザインは変更となる場合があります)



(2) 設置状況

○交通誘導員の配置

- ・工事期間中は、工事用車両出入口に交通誘導員を配置します。



(3) 交通誘導員配置
(工事用車両出入口に配置)

3.工車用車両の明示

- ・工車用車両には「中央新幹線の工事であること」がわかるように、ステッカーなどを貼り付けて、明示を行います。



- ・万が一、文字が見えない場合はオレンジ色ステッカーが本工事の車両となりますので、色を目印に確認をお願いします。



※ダンプトラックのイメージ

- ・ダンプトラックは
左右各1枚、前後各1枚 計4枚設置



※ミキサー車のイメージ

- ・ミキサー車は
左右各1枚、前面に1枚 計3枚設置

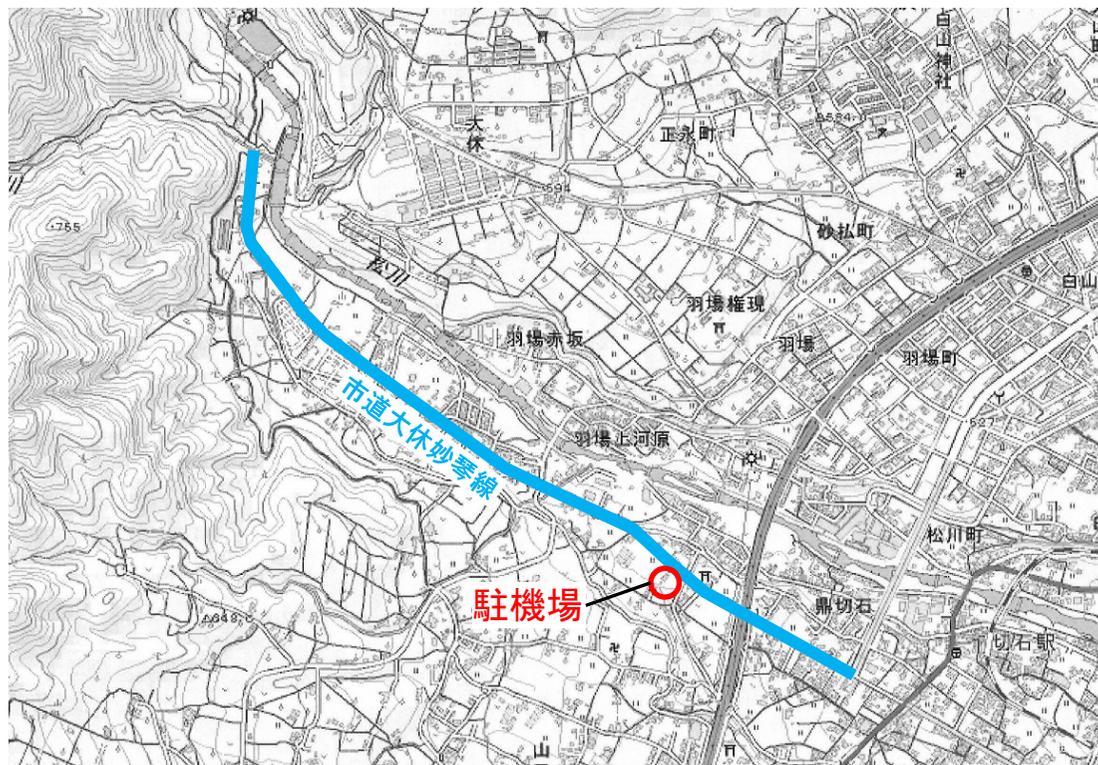
4. 工事用車両の監視・車間調整

○発生土運搬車(ダンプトラック)に搭載する運行管理システム

- ・ 発生土運搬車(ダンプトラック)にGPS衛星との通信端末(モニター)を搭載し、全車両の運行状況を監視します。
- ・ 制限速度の超過、車間距離、急発進および急ハンドルを検知した場合、通信端末(モニター)より注意喚起アナウンスが流れるシステムを採用します。

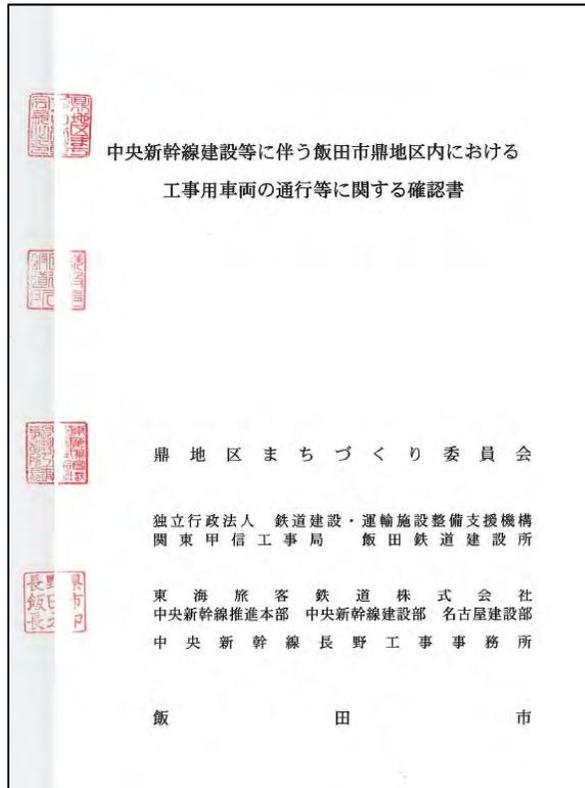


○ダンプトラック駐機場



- ・市道大休妙琴線の拡幅区間5にダンプトラック駐機場を整備

- ・万が一、ダンプトラックが3台以上連行した場合、駐機場に入り車両間隔を調整（通常は、GPSで車両間隔を調整します）
- ・昼休みは駐機場に駐車し、休憩する（最大10台駐車）
- ・工事用車両の故障があった際に利用



平成30年2月締結

- 第1条 目的
- 第2条 通行ルート
- 第3条 工事用車両の通行に伴う沿道の安全対策
- 第4条 通行時間
- 第5条 工事の影響の低減対策
- 第6条 通行ルートの清掃及び損傷の修繕復旧
- 第7条 道路管理者との協議
- 第8条 妙琴公園内における工事に伴う安全対策
- 第9条 説明内容の厳守
- 第10条 工事施工業者等への通知
- 第11条 有効期間
- 第12条 その他

第9条には、平成29年12月の工事説明会の内容を厳守すること記載

本日の説明会【トンネル工事計画に関する説明会(令和3年7月10日開催)】
において説明した内容を厳守することを追記します

お問い合わせ先

【事業計画及び環境保全に関すること】

〈事業者〉 東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線長野工事事務所 (TEL 0265-38-6500)

環境保全事務所(長野) (TEL 0265-52-6511)

住所:長野県飯田市元町5451番地

(受付日時/土・日・祝日・年末年始を除く平日、9時～17時)

【工事の監督指導に関すること】

〈発注者〉 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

関東甲信工事局 飯田鉄道建設所 (TEL 0265-53-1755)

住所:長野県飯田市鈴加町1-1-3

(受付日時/土・日・祝日・年末年始を除く平日、9時～17時)

【工事内容に関すること】

〈施工者〉 中央新幹線、中央アルプストンネル(松川)外特定建設工事共同企業体
(構成員:戸田建設・あおみ建設・矢作建設工業)

中央アルプストンネル作業所 (TEL 0265-48-5891)

住所:長野県飯田市北方3418-1他